



令和5年9月28日

10月 調布幼稚園だより



『それぞれのお祭りを通して学んだこと』

園長 山形美津子

涼しい風が吹きわたり、調布幼稚園でも秋の訪れを感じる季節になりました。空の雲や吹く風の涼しさに秋の風情を感じる今日この頃です。

2学期が始まった9月は、どの学年も「お祭りごっこ」が盛んに行われた月でした。これは、夏期保育で経験した夏祭りやご家庭で地域のお祭りに参加した経験が生きた園の活動でした。子どもたちが経験したことを生かす力は素晴らしいものです。大人では気付かないことまで子どもたちはきちんと見ているのです。子どもたちの「お祭りごっこ」を見ていてそのことを感じました。子どもたちが何かを経験することはとても大事だと改めて感じた9月でした。

最初に「お祭りごっこ」を始めたのは年中組でした。保育室が1階と2階に分かれていることもあり、主に昇降口のスペースや1階のきく組の保育室を使ってお店を広げ、「年中祭りやっているよ」と楽しんでいました。1学期から壁面に飾っていたたこ焼きやチョコバナナなどの品物も活用し、また新しく品物もたくさん作っていました。自分のやりたいお店のお店屋さんになったり、お客さんになって他のお店で品物を買ったり、輪投げをしたり、魚釣り、射的等、様々なお店の経験を通して、友達とのかかわりや言葉のやり取りをたくさん経験することができました。

年少組は、夏休みの経験を生かしたり、年中組のお祭りごっこを見て刺激を受けたりして、「年少祭り」をしました。3クラス合同で、かき氷、チョコバナナ、流しそうめん、焼きトウモロコシ等を作り、お店屋さんをしたり、お客さんになりました。また、先生が作ったおみこしを担いだり、太鼓を叩いたりして、お祭りの雰囲気を楽しんでいました。1学期は既製の遊具で遊ぶことが多かった年少組ですが、少しずつ紙やいろいろな材料を使って作ったものを遊びに取り入れ、遊びの幅が広がってきました。

年長組は、2学期になってどのような「年長祭り」にしたいかクラス毎に話し合っアトラクションのテーマを決めていきました。

うめ組は「ジャングルバス」、ジャングルにいる動物の乗り物を作り、お客さんを乗せて動かして楽しませてあげるといいう工夫があり、部屋全体もジャングルのように作ったへびや昆虫を飾り、ジャングルの雰囲気をかもし出していました。

もも組は「ぐるぐるフードコート」、フードコートへ行った経験を活かしてどのようなお店があったか思い出し、より本物らしく食べ物を作っていました。また、迷路をやりたいという子どももいたので、部屋全体を迷路にすることで、遊びながらフードコートを楽しめるという工夫もされていました。

ふじ組は「ウルトラマリオワールド」、ウルトラマンやマリオなどが大好きなふじ組は、その世界観を子どものアイデアを生かして工夫して作っていました。ゲームの世界が子どもたちの手作りのもので工夫して作られていて、まるでその世界に入り込んだような気持ちにさせてくれました。

それぞれのクラスが工夫をこらしたアトラクションを作って、小さい組の子どもたちを招待することを楽しみにしていました。招待した当日は、年長組の子どもたち一人一人が自信をもって小さい組の子どもたちに応対し、楽しんでもらうという「年長祭り」が実現できました。年長組の子どもが小さい組の子どもたちを前にして、自分の役割を意識して活動していることが印象的でした。9月号でお伝えしたこれからの時代に必要な力である「人とのかかわる力」や「コミュニケーション力」の育ちを活動のいたるところで感じ、嬉しい気持ちになりました。

昨年まではコロナ禍のため、3学年が直接交流することができませんでしたが、今年度はこのように3学年の交流が再びできるようになったことがとても有意義でしたし、子どもたちの心に育つものが大きいということをつくづく感じた2日間でした。

これからは体を動かして活動することが気持ちのよい季節になります。調布幼稚園の子どもたちも、たくさん体を動かし、遊びながら体を鍛え、運動会に向けて練習を積み重ねていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

10月の目標

全学年

- 自分たちが育ててきた夏野菜の終わりを感じたり、さつまいもや稲などの収穫に興味をもったり楽しみにしたりする。
- 全員で運動会の醍醐味を味わう。
- 頑張る姿をお家の方に見てもらい満足感を味わう。

年少組

- 保育者や友達のしていることに興味をもったり、様々な遊具や素材にかかわったりして夢中になって遊ぶ。
- 友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを言ったり、友達の思いも感じられたりするようになる。
- 運動会に向けて体を動かして踊ったり、思い切り走ったり、みんなと一緒にいることを楽しむ。

年中組

- 友達とのかかわりを楽しみながら、自分の思いを伝えたり、相手の思いも聞いたりして遊ぼうとするようになる。
- 自分の思いを言葉や動きにして遊び、繰り返し遊ぶ中で自分なりのやり方を試したり、工夫したりする。
- 運動会に向けて、いろいろな動きを試しながら体を動かしたり、思い切り走ったり、表現したりすることを楽しむ。
- みんなで一緒に取り組む中でルールを守って遊ぶ楽しさや必要性に気づき、勝ち負けのある競技に参加し、嬉しさや悔しさなど様々な感情体験をする。
- 安全に過ごす為の約束や決まりが分かり、自分から守ろうとする。

年長組

- 運動会を自分たちで進めようとする気持ちを持ち、学年の友達や教師と一緒に共通の目的に向かって活動を進め、友達の良さに気付いたり、認めたりする。また、力や気持ちを合わせる心地よさを味わう。
- 自分の力を出し切ったり、競い合ったりする中で嬉しさや悔しさを味わい、気持ちのコントロールをしようとする。
- 運動会に向けて、見通しをもちながら準備をしたり、生活を進めたりする。



季節の歌 10月

顧問 外崎明美

ガンバリマンの歌

作詞 ともろぎゆきお
作曲 峯 陽
(調布幼稚園バージョン)

ガンバリマンは がんばるさ
ちっちゃくたって ちからもち
ガンバリマンの あいことば
みんななかまだ エイエイオウ
ねんしょうも ねんちゅうも
ねんちょうも よつといで
ちからをあわせて
みんななかまだ エイエイオウ

「暑さ、寒さも彼岸まで」という慣用句がありますが、早く涼しくなって欲しいと願うばかりです。園庭やグランドでは朝の涼しいうちに、年少さん、年中さんがかけっこを楽しんでいます。年中さんはバルーンにも挑戦しています。中にもぐったり、広げたりして楽しそうです。年長さんは、リレーごっこを楽しむ中で、少しずつ人数の違いや白線の中に入って追いつくのはどうなのだろうとルールにも気付いてきています。10月には運動会があります。子どもたちの楽しんでいることがやがて、運動会で力を発揮して、真剣勝負の楽しさにつながっていくと良いですね。毎日降園時には『ガンバリマンの歌』を歌って、運動会に向かってみんなで元気に頑張ろう！と気持ちを高めていっているところです。畑では虫取りをし、秋の気配を感じながら、秋に因んだ歌をみんなで楽しんでいるところです。

